

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成 28 年度期末）

1 取組実績の評価（１）：事業の実施状況の評価

評価項目

- (1) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）
 - (1-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の実施状況
 - (1-2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の実施状況
 - (1-3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実施状況
 - (1-4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
A	・地活協の意義、地域課題の共有など、地域による理解度・成熟度の違いを把握・分析できており、それに応じた支援策を実行できている。

2 取組実績の評価（２）：事業の実施体制等の評価

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の実施状況
 - (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制
 - (2-2) フォロー（バックアップ）体制等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組

評価	左記の理由
A	・支援員、アドバイザー、区役所との情報共有が図れており、協同による支援が行われ、属人的な支援ではなく、システム的な支援が評価できる。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）に関する評価

評価	左記の理由
A	・新たな担い手の拡充につながる取組みや、地域活動に関心の薄い層へのアプローチなど、区の課題に応じた支援は評価できる。

4 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）：目標等の達成状況の評価

評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）
 - (2-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」の達成状況
 - (2-2) 「Ⅱ つながりの拡充」の達成状況
 - (2-3) 「Ⅲ 組織運営」の達成状況
 - (2-4) 「Ⅳ 区独自取組」の達成状況

(3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
A	・マンションに対する取組みや、井戸端会議、なにわ区ラボなどの効果が現れている。 ・地域特性に応じた支援効果も表れている。

5 総合評価

上記の評価を踏まえ、総合的に評価

(1) 総合評価Ⅰ

項目	評価	左記の理由
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	A	・地活協の意義、地域課題の共有など、地域による理解度・成熟度の違いを把握・分析できており、それに応じた支援策を実行できている。
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	A	・課題ごと、地域の成熟度、地域活動に対する住民の層ごと、それらに応じた支援策を民間のノウハウを活かして実行できている。
(3) 区のマネジメントに合った取組	A	・新たな担い手の拡充につながる取組みや、地域活動に関心の薄い層へのアプローチなど、区の課題に応じた支援は評価できる。

(2) 総合評価Ⅱ

項目	評価	左記の理由
総合評価（全体）	A	・組織運営に対する課題は、これまでの支援が着実に積み上げられている。 ・区の特徴を理解し、地域ごとの課題・成熟度に応じた支援は評価できるものであり、今後はより効果的な手法を検討、継続されたい。

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
A：本市の求める水準以上の効果が得られた
B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
C：本市の求める水準の効果が得られていない